

2. 「重点施策の進捗状況について」

重点施策 1 | 森林被災地復旧への取組の推進

■ 内容

平成 30（2018）年の台風第 21 号により激甚災害指定を受けた森林被害について、国の「森林災害復旧事業」を活用し、被災森林の復旧に向け継続して取り組めます。また、残る被災森林において、関係団体と連携を図り、森林の再生に取り組めます。

令和 4 年度実績

■ 目標（前期）

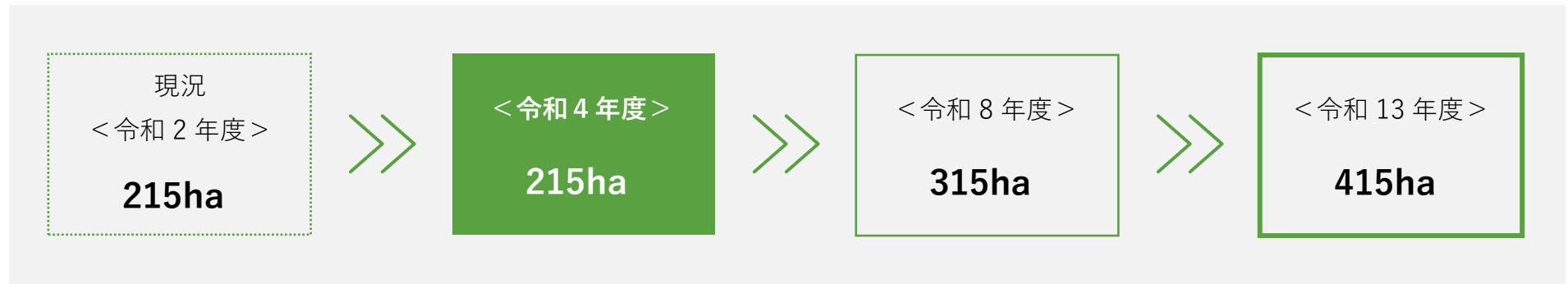
被災地のうち優先度の高い森林について復旧を図る

取組実績	担当課
<p>平成 30 年 9 月の台風第 21 号による風倒木被害を受けた森林の復旧及び二次災害防止のため、集落や道路・河川付近などで優先度の高い森林について、大阪府森林組合三島支店が実施する「森林災害復旧事業」を支援した。</p> <p>●被災森林の復旧面積（市関連部分） 11.01ha ※延べ復旧完了面積 123ha</p>	<p>農林緑政課</p>

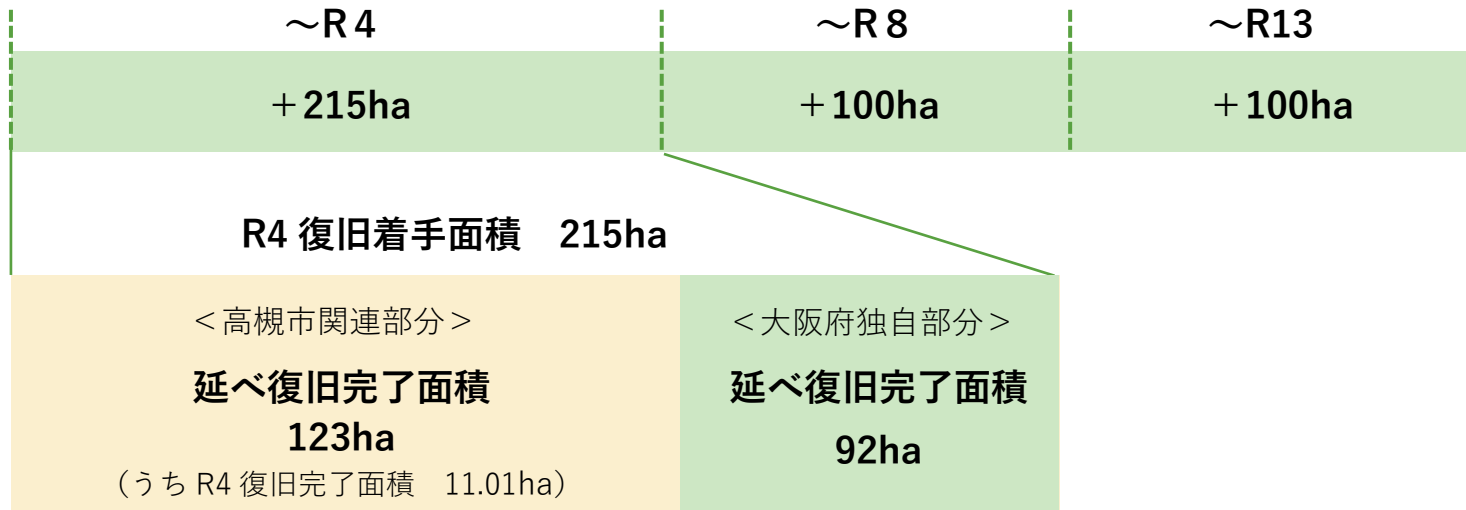
施策指標

●今後の被災森林復旧面積

風倒木被害を受けた森林で、現在も復旧事業が実施されていない森林の復旧を進めます。



【補足】令和4年度の被災森林復旧面積の内訳について



重点施策 2 | 担い手の育成・確保、農地の集積・集約化の支援

■ 内容

担い手の育成・確保とともに、人・農地プラン（現：地域計画）や農空間づくりプランの策定を推進し、営農が継続されるまちづくりに取り組み、遊休農地化の抑制を図ります。

令和 4 年度実績

■ 目標（前期）

農用地利用集積面積（利用権設定面積）を増やす

取組実績	担当課
新規就農希望者等に農地中間管理事業の活用を勧めるなど、農用地利用集積面積の増加に取り組んだ。 ● 農用地利用集積面積 21.1ha	農林緑政課

●農用地利用集積面積

農地の集積・集約化を進めることで、農地の有効利用と農業の振興を図ります。



重点施策3 | 芥川創生基本構想に基づく「ひとと魚にやさしい川づくり」

■内容

芥川創生基本構想に基づき、市民協働による川づくりに取り組めます。

令和4年度実績

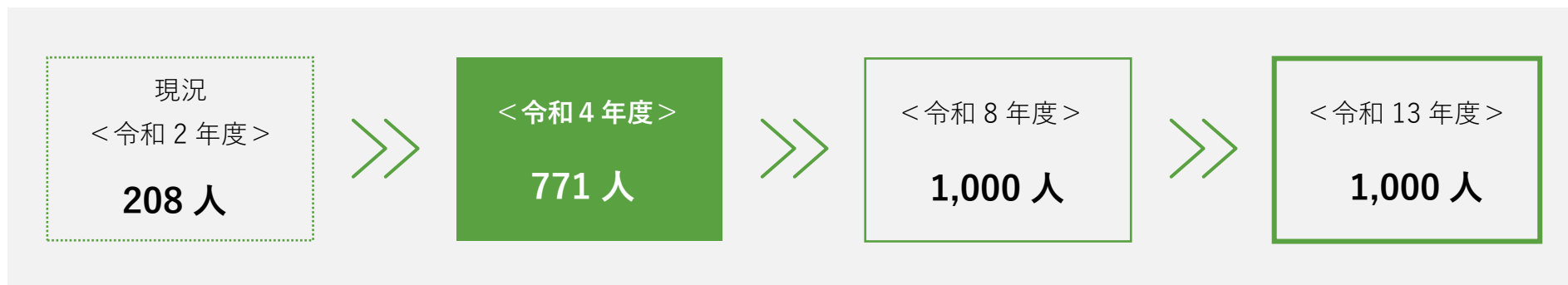
■目標（前期）

河川管理者(国、大阪府)と連携した市民協働の川づくりの継続

取組実績	担当課
<p>「ワンド観察会」、「水辺の楽校」、「おとなのための魚とり講座」、「芥川ウォーキング」、「2月講座」、「淀川・芥川クリーン大作戦」など市民参加によるイベントを開催。</p> <p>●参加人数 771名</p> <p>【内訳】</p> <p>「ワンド観察会 21人」、「水辺の楽校 315人」、「おとなのための魚とり講座 33人」、「芥川ウォーキング 39人」、「2月講座 47人」、「淀川・芥川クリーン大作戦 316人」</p>	下水河川企画課

●イベント・活動の参加者数

引き続き、芥川を守り育て、水や生き物とのふれあいを通じて、豊かな心を育む「ひとと魚にやさしい川づくり」に河川管理者や市民とともに協働して取り組みます。



重点施策4 | ヨシ原の保全

■内容

河川管理者である国や地元団体などと連携し、多種多様な生き物が生息・生育する鶉殿のヨシ原の保全活動を支援します。

令和4年度実績

■目標（前期）

ヨシの生育状況の改善及び多種多様な生き物の生息状況の維持

取組実績	担当課
<p>関係機関や地元団体等と連携し、ヨシの生育に悪影響を及ぼすカナムグラ等のつる草の駆除活動を実施した。</p> <p>また、つる草抜きやヨシ原焼きがヨシの生育状況に及ぼす影響を調査するため、関係団体と協力し、ヨシの生育状況の調査を実施した。冬季には地元団体による「ヨシ原焼き」の実施に協力するなど、ヨシ原の保全に向けた取り組みを行った結果、ヨシの生育状況の改善がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none">●生育状況調査 6回●ヨシ原焼き 実施	農林緑政課

● 鶺殿のヨシ原におけるヨシ群落及びオギ・ヨシ群落の割合

ヨシ原の保全を進めることで、ヨシの生育を阻害する要因となるカナムグラなどの植物の繁茂を抑制し、多種多様な生き物が生息できる環境を維持・保全します。



● 鶺殿のヨシ原焼きの実施

ヨシ原の保全策として有効なヨシ原焼きを今後も継続していくことで、良質なヨシの生育環境の維持・保全を図ります。



重点施策 5 | 摂津峡・三好山周辺の歴史・自然環境の保全・活用

■ 内容

市民に親しまれている摂津峡・三好山周辺の歴史・自然環境を保全・活用し、関係団体などと連携しながら、地域の活性化を推進します。

令和 4 年度実績

■ 目標（前期）

- ・ 芥川山城跡の史跡指定
- ・ 摂津峡周辺地域の魅力を広く市内外へ発信することで、観光振興の側面から地域の活性化を推進
- ・ 摂津峡公園ハイキング道の安全確保及びルートの見直し検討

取組実績	担当課
<p>「摂津峡における自然環境の保全等に関する条例」に基づく環境保全区域でのバーベキュー禁止について、警備員の配置や広報誌への掲載等により、継続して周知・啓発を実施したことで、条例制定前と比べ、大幅にバーベキュー等の禁止行為が抑制できている。</p> <p>● 制止件数 70 件 （H30 年度の制止件数 460 件）</p>	環境政策課
<p>災害等で崩れている箇所や倒木のある箇所について点検し、通行止め措置や看板等による注意喚起を行った。また、ハイキング道については調査により現状を把握し、廃止ルートの検討を実施。</p>	公園課
<p>「風致地区内における建築等の規制に関する条例」に基づき、風致地区内における開発行為にあたり、建築物の高さや建ぺい率を制限することなどにより、低密度の土地利用や緑化空間の確保を誘導し、風致の維持・保全に努めた。</p> <p>● 許可件数 4 件</p>	農林緑政課

取組実績	担当課
<p>摂津峡周辺地域の魅力を広く発信するため、体験交流型観光プログラム「オープン高槻」等において、摂津峡周辺での取組を実施するとともに、市公式インスタグラムにおいて、摂津峡の魅力を発信する投稿を行った。</p> <p>●プログラム数 26件 ●投稿数 14件</p>	<p>観光シティセールス課</p>
<p>講演会・特別展等の開催や城の解説リーフレットの配布を行った。また、現地見学者の利便性を向上するためアプリ「AR 芥川城」を開発するとともに、風水害で不通になっていた見学ルートについて修繕を実施した。</p> <p>また、令和4年11月に「芥川城跡」として国史跡指定を受け、指定後は認知度が以前に増して高まり、現地を訪れる見学者が増加している。</p>	<p>文化財課</p>

施策指標

●この1年以内に摂津峡・三好山周辺を訪れたことのある市民の割合

<令和4年度>

28.9%



<令和13年度>

令和8年度に目標値を設定します

重点施策 6 | 高槻城公園の整備

■ 内容

市民の憩いの場や、誰もが自由楽しめるにぎわい空間を形成し、「みどり」、「歴史」、「文化」をめぐる人々の交流と地域の活性化を促す新たな交流拠点として、高槻城公園の整備を進めます。

令和4年度実績

■ 目標（前期）

高槻城公園中央エリアの開園

取組実績	担当課
<p>高槻城公園中央エリアが開園することで、市民の憩いの場や誰もが自由楽しめる、にぎわい空間を形成し、「みどり」、「歴史」、「文化」をめぐる人々の交流と地域の活性化を促す新たな交流拠点が誕生した。</p> <p>また、開園に合わせて高槻城についての企画展を開催した。</p>	<p>歴史にぎわい推進課 文化財課</p>

●整備工事の進捗率

高槻城公園の中央エリア、北エリアの整備を進めます。



重点施策7 | 芥川緑地の健康づくり広場等整備

■内容

地域住民のニーズを踏まえながら、子どもの遊び場や中高年層の健康づくりの場など、幅広い層のライフスタイルに応じて利用される公園の整備を進めます。

令和4年度実績

■目標（前期）

子どもから高齢者まで“健康づくりを楽しむ公園”の整備

取組実績	担当課
健康づくり広場等の整備に向けて、敷地造成工事等を行った。 ●整備工事の進捗率 33%（契約金額ベース）	公園課

●整備工事の進捗率

芥川緑地の健康づくり広場等整備を計画的に進めます。



重点施策 8 | 緑化重点地区におけるみどりの連続化

■ 内容

「緑化重点地区」では、高槻城公園を中心に周辺の既存公園、街路樹などによるみどりの連続化を図ります。

令和4年度実績

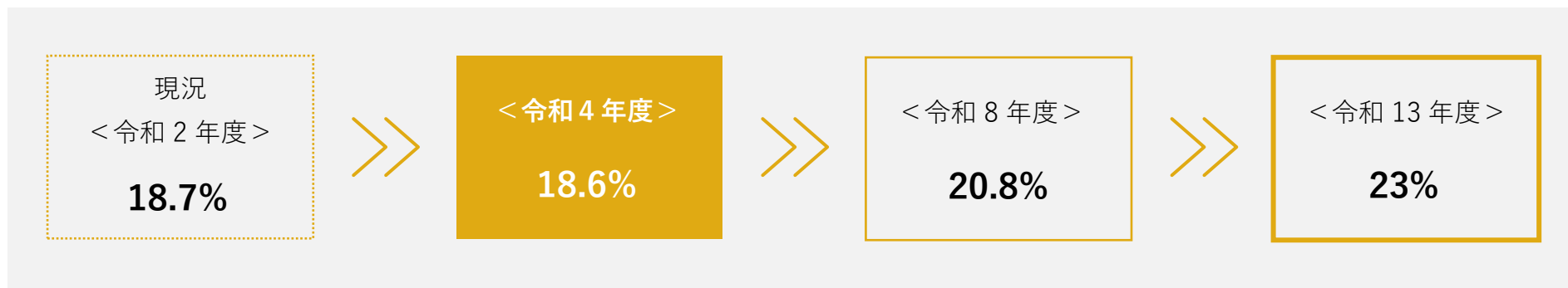
■ 目標（前期）

高槻城公園中央エリアの開園

取組実績	担当課
<p>基礎調査として、緑化重点地区周辺の緑視率の調査や周辺の公民館等へのヒアリングを実施し、現状の把握に努めた。現在、周辺で複数の団体が緑化活動を行っているほか、一部管理が不足している植栽帯も確認されており、次年度以降に地域での活動を支援する取り組みを実施し、連続的な緑化空間の創出に努める必要がある。</p> <p>● 城内地区の緑視率 20%（前年度比+0.8%）</p>	農林緑政課
<p>高槻城公園中央エリアを開園した。市民の憩いの場や、誰もが自由に楽しめるにぎわい空間を形成し、「みどり」、「歴史」、「文化」をめぐる人々の交流と地域の活性化を促す新たな交流拠点が誕生した。</p>	歴史にぎわい推進課

●緑化重点地区内の緑視率

緑化重点地区で高槻城公園の整備や周辺エリアのみどりの連続化を図ることで、地区内の緑視率を向上させ、快適で良好なみどり空間の形成を図ります。



【補足】緑化重点地区内の緑視率調査地点について

「緑化重点地区」とは、みどりの保全や緑化の推進に配慮を加えるべき地区として定められており、都市公園の整備などの公共事業による緑化や市民との協働による民有地の緑化を重点的に実施する区域として、高槻城公園やJR高槻駅周辺及びそれらをつなぐエリア約77haを指定。

緑視率の4調査地点のうち、下記の2地点が緑化重点地区内の調査地点として指定されている。

- (1) 城内公民館前 20% (①17.7% ②22.3% ※同エリアで2地点を測定し平均値を算出。)
- (2) JR高槻駅西口付近 15.7%

重点施策 9 | さまざまなみどりの活用による浸水被害の軽減

■ 内容

農地・森林・ため池などの保全や公共施設の活用により、雨水の保水・貯留・地下浸透を促進し、都市型集中豪雨などの浸水被害を軽減します。

令和4年度実績

■ 目標（前期）

農地・森林・ため池の保全や公園などの公共施設を活用した雨水対策による浸水被害の軽減

取組実績	担当課
<p>市立小中学校のグラウンド改修及び、川添公園の改修に合わせて、雨水流出抑制施設の整備を行った。また、高槻城公園（高槻芸術文化劇場）の整備に合わせて、雨水流出抑制施設の整備を行ったことで、過去最大規模の降雨量（110mm/時）が降った場合、施設周辺地域への雨水流出量を4施設あわせて約1700 m³抑制することが可能になった。</p> <p>●雨水流出抑制施設の整備数 4施設（若松小学校、第三中学校、高槻城公園、川添公園）</p>	<p>下水河川企画課 公園課 学校安全課</p>
<p>遊休農地の現地調査や話し合いを行い、遊休農地の抑制と解消に取り組んだ。</p> <p>●現地調査 10地区 ●地区協議会開催数 10地区</p>	<p>農林緑政課</p>

●雨水流出抑制施設の整備箇所数

浸水が多発する重点区域において、雨水流出抑制施設を整備します。



重点施策 10 | 市民参加による生き物調査の実施

■内容

市民が興味・関心を持ちながら参加できる身近な生き物調査を実施します。

令和4年度実績

■目標（前期）

市民が参加できる生き物調査を増やす

取組実績	担当課
<p>市民団体と連携し、津之江公園で自然観察会を実施した。</p> <p>また、参加者がどのような生き物に興味を持っているか知るため、アンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">●「昆虫観察会」参加者 21人●「野鳥観察会」参加者 20人	農林緑政課
<p>芥川緑地や萩谷総合公園等で自然観察会を開催し、多くの市民が身近な生物であるカエルやセミ、昆虫類を探索し、生活環境や生態について学習する機会を創出。</p> <ul style="list-style-type: none">●自然観察会 11回開催（参加者数 254人）	公園課

●市民団体が実施する生き物調査数

市民による生き物調査が実施されることで、貴重な生き物に対する市民の理解が深まるなど、生物多様性保全への意識の啓発を図ります。



【補足】対象の市民団体及び調査数について

環境行動に積極的に取り組む市民団体などが連携・調整する「たかつき環境行動ネットワーク」に所属している市民団体の中で、生物多様性に関連する活動を行っている 10 団体を選出し、調査種目の数を算出。

重点施策 1 1 | 生物多様性保全の市民への啓発

■内容

自然博物館と連携し、生物多様性を保全する活動につながるよう、市民への啓発を図ります。

令和 4 年度実績

■目標（前期）

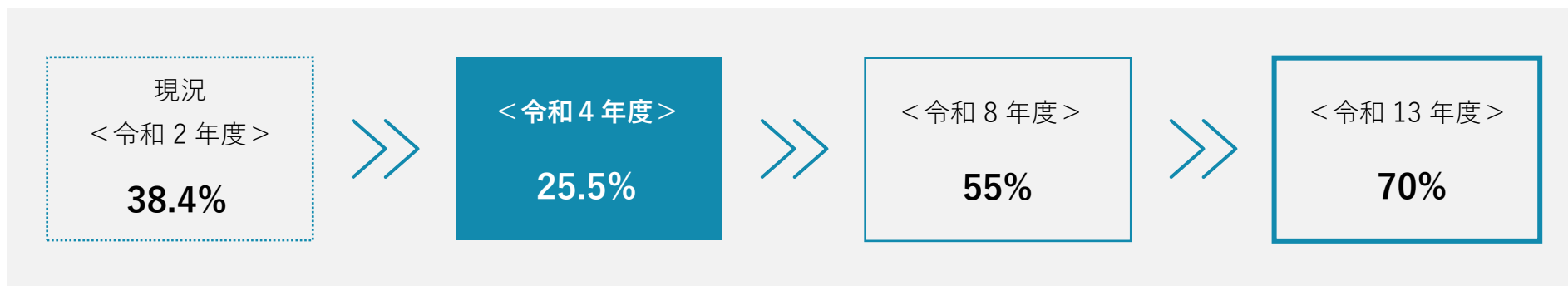
生物多様性の保全について理解する市民を増やす

取組実績	担当課
<p>生物多様性啓発パンフレットを作成し、津之江公園でのイベントや小学生向けの環境学習などで配布することで、市民への理解促進に努めた。</p> <p>●パンフレット作成部数 500 部</p>	
<p>市民団体と連携し、津之江公園で自然観察会や小学生向けの環境学習を実施した。津之江公園での整備活動について紹介するなど、保全活動に興味を持ってもらえるよう工夫した。</p> <p>●昆虫観察会参加者 21 人</p> <p>●野鳥観察会参加者 20 人</p> <p>●環境学習（津之江公園自然再生エリア体験ツアー）参加者 125 人</p> <p>●環境学習（クズのつる採集及びリースづくり）参加者 52 人</p>	農林緑政課
<p>生物多様性講座「砂浜の砂：その様々な色や形、そして未来」を開催し、砂浜の砂と地質との関係、現在の状況と予想される未来について学習できる場を市民向けに提供した。</p> <p>●参加者数 18 名</p>	公園課

●生物多様性という言葉と意味を知っている市民の割合

生物多様性の保全を推進するため、イベントや情報発信などを通じて市民へ周知・啓発を図ることで、市民一人一人の生物多様性への意識の向上を図り、環境に配慮した市民の行動につなげます。

市民意識調査により、指標項目を調査し、その割合を算出します。



重点施策 1 2 | 市民共創によるみどりの人材育成の促進

■内容

市民団体との共創によるみどりに関する人材育成のための講座を実施します。

令和 4 年度実績

■目標（前期）

講座受講者の地域での緑化活動への参加者数を増やす

取組実績	担当課
<p>市民向けに「たかつき市民環境大学」を開講。環境保全活動団体が行っている活動を体験する講座を追加し、卒業後の団体活動へ関心を持ってもらうように実施した。</p> <p>●たかつき市民環境大学卒業生 12 人／卒業後の市民団体加入者 11 人</p>	環境政策課
<p>市民向けに「園芸講座」を開催し、市役所前のコンテナ花壇において植栽実習を行い、講座参加者を中心に週 1 回ボランティアとして、コンテナ手入れの活動を実施した。その結果、年間で 7 人がボランティアとして緑化活動に参加した。</p> <p>●園芸講座参加者 20 人／手入れボランティア 7 人</p>	農林緑政課
<p>市民向けに「市民林業士養成講座」を開講。座学において「林業の現状と課題」や「高槻の森林の現状」等を説明。また、森林組合指導による間伐などの現場実習を行うことで現在の森林の現状を学び、森林の環境改善ができることを実感できるよう促した。</p> <p>●市民林業士養成講座 受講生 21 人／修了後のボランティア団体加入者 20 人</p>	

●講座受講者のうち、地域などでの緑化活動や環境保全活動に結び付いた人数（令和4年度からの累計人数）

市民団体と連携するなどして、みどりの人材育成に関する講座を開催し、講座受講生が積極的に地域などでの活動に取り組むことで、みどりの活動の活発化を図ります。

<令和4年度>

38人



<令和8年度>

200人



<令和13年度>

450人

重点施策 13 | イベント・活動などを通じたみどりの体感による楽しさの創出

■内容

森林・農地・河川などの恵まれた自然環境の中でさまざまなイベントを開催するとともに、みどりあふれる公園や森林などが市民や事業者などの催しや共創の場として活用されることで、市民が直接みどりとふれあう楽しさを創出します。

令和4年度実績

■目標（前期）

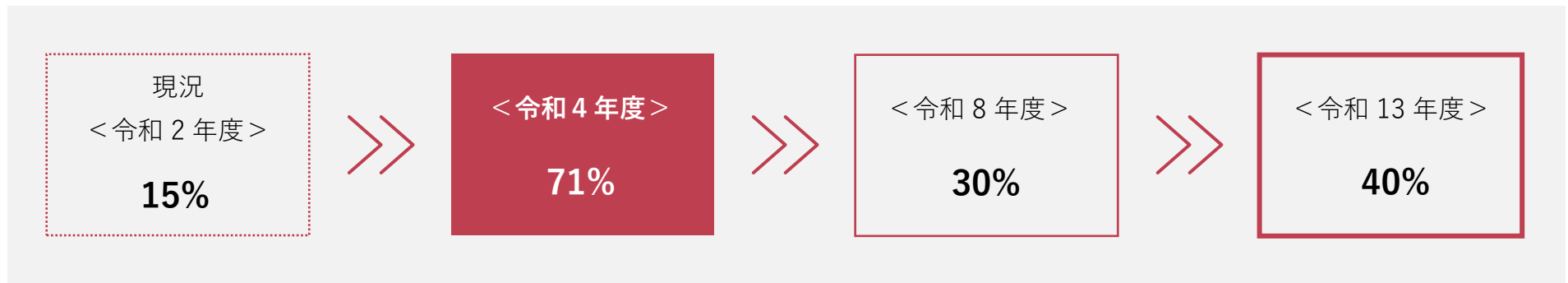
イベントの参加人数を増やす

取組実績	担当課
<p>安満遺跡公園で、第38回高槻市都市緑化フェアを開催。来場者を増やすために、チラシ及びポスターを作成し、小中学校や公民館などへ掲示を依頼した。</p> <p>また、来場者にみどりに触れてもらい、楽しんでもらえる機会を創出するため、花やみどりに関連したイベントを多く実施した。</p> <p>●来場者数 3,334人</p>	農林緑政課

●イベント参加者で保全活動に興味を持った市民の割合

さまざまなイベントを通じて、森林・農地・河川・公園などの自然とふれあうことで、市民のみどりへの興味・関心を醸成し、市民による主体的な保全活動への取組につなげます。

イベント参加者へのアンケートにより、指標項目を調査し、その割合を算出します。



重点施策 14 | みどりの交流の場の創出

■内容

市民団体と連携し、緑化活動を行う市民が交流できる場をつくります。

令和4年度実績

■目標（前期）

自治会や市民団体などが参加できる交流会の開催

取組実績	担当課
<p>市民団体と連携して、緑化団体の現状把握やニーズ調査を実施。調査結果をもとに、事業の企画・立案を行い、令和5年度に当団体の新規事業として交流会の開催を実現するために役員会で事業提案を行った。</p> <p>●開催 0回（※令和5年度の事業実施について承認済み）</p>	農林緑政課

●活動団体交流会の年間開催回数

市民団体同士が積極的に交流を図ることで、緑化活動の継続性につなげるとともに、活動の活発化を図ります。

<令和4年度>

0回



<令和8年度>

1回



<令和13年度>

2回